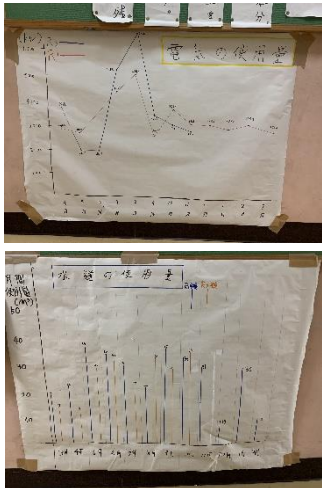
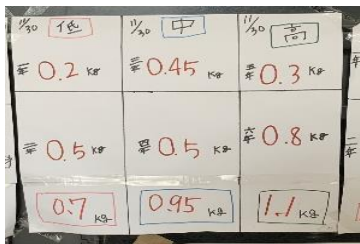


## 令和2年度（2020年度）学校版環境ISOへの取組

## ＜ 天草市立御所浦小学校 ＞

## 1 取組の概要

項目	活動の様子（写真）	取組の実際
宣言		「令和2年度御所浦小学校 環境ISO宣言」を児童会の環境委員会を中心に作成した。作成するにあたり、全校児童を対象に「環境ISOについてのアンケート」を実施し、環境に関する意識調査を行った。その結果、ゴミを減らす意識が少なくことや、電気の消し忘れがあることが分かった。アンケート結果をもとにして、水、電気、ごみの3つに分けて具体的な取組事項「①水を使うときは、えんぴつ1本分だけ出します。②移動教室の時は、指さし確認をして電気を消します。③ゴミは、分別して捨てます。④給食の時は、できるだけ残さないようにします。」を決めた。
行動		環境委員会で作成した宣言項目をA4版でラミネートし、各教室に配布したり、広用紙やポスターを作って廊下や手洗い場に掲示したりして、児童の意識化、行動化につなげるようにした。また、環境ISOの意義や、アンケートの結果、ISOの具体的な取組について、環境委員が放送で呼びかけ、周知を行った。 水、電気についての取組では、環境委員会が中心となって、電気と水道の使用量について調べ、校内に掲示するようにした。一目で使用量の増減が分かるように、昨年度の使用量も調べ、グラフに表した。増減の理由を環境委員で話し合い、これまでの成果と課題を、校内放送で全児童に報告した。児童の様子を見てみると、手を石けんで洗う時は水をとめたり、歯磨きをするときはコップ一杯の水で口をゆすいだりと、節水に努めることができた。また、移動教室の際は、電気やエアコンの消し忘れがないようにみんなで声をかけ合うことができた。 ゴミについての取組では、環境委員会が中心となって、「ゴミ減量コンテスト」を一ヶ月に渡って実施した。週に1回、各教室のゴミを環境委員が回収し、重さを調べて結果を児童玄関前に掲示し、ゴミ減量の意欲付けを行った。ゴミの量が少なかった学年を放送で報告し、取組に対する価値付けを行った。クラスでは、給食を食べるときにおかずをこぼさないようにしたり、不要になったプリントは捨てずにリサイクル紙に回したりするなど、ゴミ減量を意識しながら取り組むことができた。 また、「そうじコンテスト」を行い、各教室の掃除用具入れや黒板の溝をチェックし、身の回りの環境を整えるよう呼びかけを行った。こちらも同様に、結果を放送で報告し、表彰を行った。そうじコンテストが終了した後も各クラス黒板や黒板の溝をていねいに掃除する児童の姿が見られ、気持ちのよい環境を整えることができた。

		<p>さらに、昨年度に引き続き、ゴミの分別も行っている。分別用のゴミ箱を設置したり、給食の残食を減らすように呼びかけたりしている。給食で出る牛乳パックについては、片付けの際に広げて水洗いを行い、乾燥・回収して資源ゴミとして出すことでリサイクルの意識化を進めている。継続的な取組により、ゴミの分別や牛乳パックのリサイクルはほぼ 100%達成できた。</p> <p>職員に関しては、職員会議や日報(毎日の連絡)の資料を印刷する際に、裏紙を使ったり、空調関係の節電を行ったりするなど、職員室内での行動を見直し、実践を進めている。</p>
記録		<p>電気と水道の使用量について調べ、増減の理由を環境委員で話し合った。水道の使用量は 3 月～7 月にかけては昨年度と比べて大きく減少し、8 月、10 月は増加した。1 学期は休校期間で水道を利用しなかった期間が長かったこと、2 学期は熱中症対策や感染症対策で水を使う機会が多かったことが原因と考えられる。使用量を削減するために、手洗い・うがいを徹底しつつ、水の流しっぱなしにならないように節水について担任で声かけを行っている。電気の使用量は、5 月、6 月は昨年度を下回ったものの、7 月～9 月にかけては上回る結果となった。今年度、各教室にエアコンが設置され、熱中症対策のためエアコンを使用する機会が多かったことが原因と考えられる。</p>
見直し		<p>「ゴミ減量コンテスト」では、単にゴミの量を計測するだけに留まってしまったので、昨年度の量と比べたり、具体的な数値目標を設定したりする必要があった。また、どのようにゴミを減らすのか、具体的な方法を考え、実施前に知らせることも大事だと感じた。</p>

## 2 成果と課題

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミの分別については、「これは、プラスチックごみですよ。」と尋ねるなど、紙とプラスチックを意識して捨てる児童の姿が多く見られ、ほぼ 100% できた。児童や職員の間で、分別の習慣化ができています。継続した取組により、分別用に色分けされたゴミ箱がとても効果的であると言える。</li> <li>・コップ一杯の水で歯磨きをすることも児童の間で習慣化されている。</li> <li>・昼休みや体育の時間など、教室を空けるときには、必ず電気を消すこともほぼ 100% できた。</li> <li>・本年度も PTA と児童により廃品回収を行い、地域のリサイクル活動に貢献できた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境 ISO の宣言項目の実践状況が数値として把握できなかった。今後は各クラスの実践状況を定期的に調査するとともに、実践状況を各クラスに知らせることで継続的・意欲的に取り組むことができるようにしたい。また、数値としても達成状況を把握できるようにしたい。</li> <li>・ゴミ減量コンテストやそうじコンテストなど、1 回の実施で終わってしまい、その効果がほとんど分からなかった。継続的に意識して取り組むことができるよう、実施の機会を増やしたり、結果報告の仕方を工夫したりする必要がある。</li> </ul>